

北九州市議会総務財政委員会での主な意見

1 起業家精神等について

- ・学生によるベンチャー企業の立上げを目指してはどうか。
- ・ベンチャー企業の立上げは総合大学だからこそできるもの。市立大学には、文理の学生の交流を考えていただきたい。
- ・特色のある学部・学群同士の学生が合わされば面白い効果が出ると思うので、工夫していただきたい。
- ・社会課題と起業家精神を総合的に連携させ、社会問題にフィットした起業を目指すことは有意義。
- ・武蔵野大学のように、東京や福岡で活躍する実務家等の豊富な人材を教員に活用してほしい。
- ・起業家精神を持った学生に対し、後継者を必要としている企業の情報提供等、起業に向けた支援を行っていただきたい。
- ・起業家精神の育成は一般教養として必要なので、幅広い学部で実施いただきたい。
- ・教員の起業に向けた就業制限や報酬制限等があれば緩和していただきたい。

2 優れた研究の支援について

- ・先進的研究の推進はとても良い。外部研究費の獲得に向けた体制づくりや支援をしていただきたい。
- ・優れた研究のためには、それに見合った報酬が必要。また、任期付教員の雇用止め等、雇用が不安定だと研究の質も下がる。

3 その他

- ・アクティブラーニングを更に取り組んでいただきたい。
- ・留学生をもっと大切にすることを目標に入れてはどうか。
- ・障害特性のある方、不登校、性的少数者等への支援を中期計画で取り組んでいただきたい。
- ・他大学と比べ地元就職率が伸びていない。
- ・女性教員の採用や登用等について、目標を持ってしっかり進めていただきたい。